



いなぎ 広報



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
 携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
 (左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
 平尾出張所 ☎042-331-6346
 若葉台出張所 ☎042-350-6321
 開庁時間 午前8時30分～午後5時

ごみ特集号

問い合わせ 環境課
 ごみ・リサイクル係
kankyou@city.inagi.lg.jp

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 042-377-4781

ごみの減量と分別にご協力ください

生ごみの水切りでごみ減量を!

家庭から出る燃えるごみの量の半分は生ごみです。その生ごみの量の約7割は水分です。

水分は嫌な臭いの元となるだけでなく、水分が多いと焼却効率が悪くなります。

また、生ごみを出す時は、水分を十分切ることでごみの減量に大きな効果があります。身近なところから、ごみ減量にご協力をお願いします。



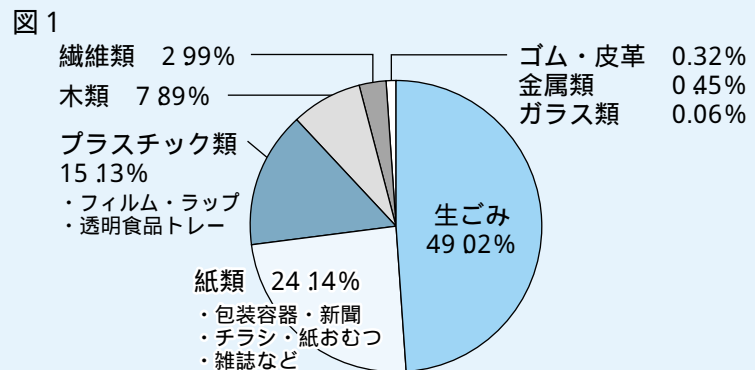
家庭ごみの内容を調査しています(組成分析)

市では家庭からどんなごみが出されているか把握し、これからのごみ減量や分別の計画を立てるため、組成分析という調査を毎年行っています。今年は8月～9月に行いました。

調査結果

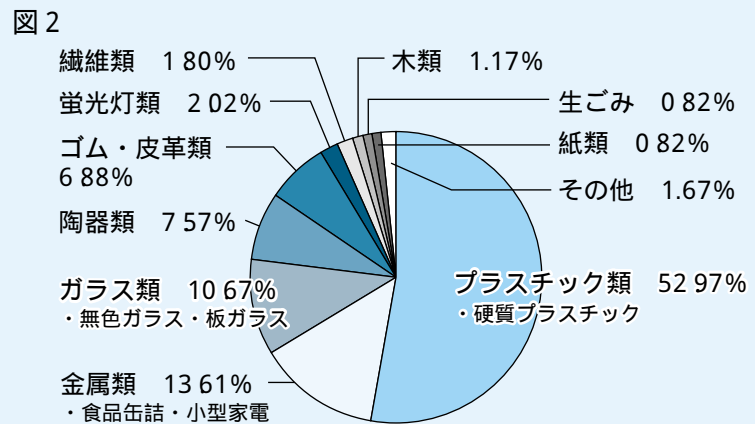
燃えるごみ(図1参照)

生ごみが約50%と一番多く、次に紙類が約24%となっていました。内訳は、ダンボール、紙パック、包装紙、新聞、チラシ、雑誌、OA用紙、その他ざつ紙です。この紙の半分はリサイクルできるざつ紙などでした。リサイクルできる紙は分別し、古紙の収集日に出してください。



燃えないごみ(図2参照)

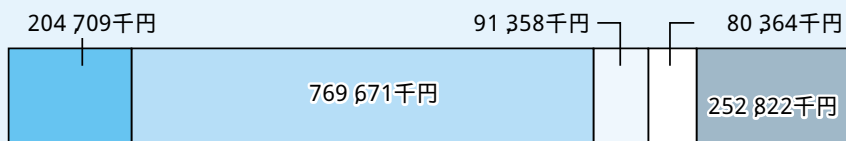
プラスチック類が約53%で一番多く、次いで金属類、ガラス類となっていました。



すぐにできる生ごみ減量法

1. むらさない
野菜は洗う前に皮をむく。
2. 乾かす
お茶がら、ティーバッグなどはすぐに捨てず、いらぬ紙の上で乾燥させるなどしてから捨てる。
3. 買い物や料理を工夫する
買いすぎに注意して、計画的にこまめに買い物する。
食べ物を大切に、食べ残し・使い残しをしない。
野菜の皮もひと工夫でエコッキングに使う。
4. 水切りネットをもうひとつ絞る
水切りネットを使うだけでは、まだ生ごみに水分が残っているので、ごみ袋に入れる前にもうひとつ絞りしてから捨てる。

20年度ごみ処理経費(合計約14億円)

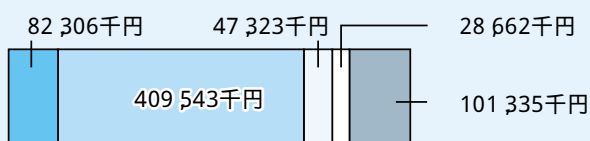


ごみを集めて「クリーンセンター多摩川」へ運ぶ費用 約2億円
 「クリーンセンター多摩川」でごみを燃やしたり、砕いて小さくしたりする費用 約7億7千万円

「クリーンセンター多摩川」でごみを燃やして残った灰の一部を日の出町の「東京たまエコセメント化施設」(詳細は裏面「わたしたちのごみはどこへ行くの?」に掲載)に運び、エコセメントにする費用 約9千万円

その他経費(指定収集袋作成、販売経費など) 約8千万円
 資源となる古紙やペットボトルなどの収集と、リサイクル施設でつぶしたりする費用 約2億5千万円です。

21年度上半期ごみ処理経費(合計約6億7千万円)



20年度ごみ・資源物収集量

年間収集量

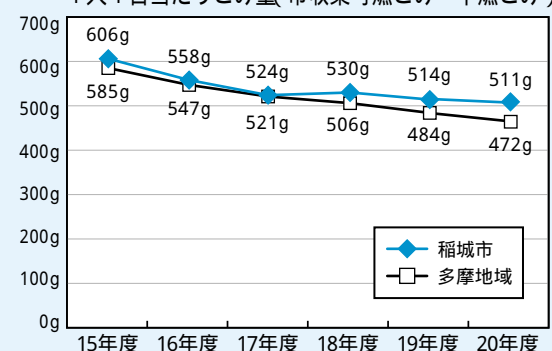
分別	年間排出量
可燃ごみ	13,868 t
不燃ごみ	1,400 t
粗大ごみ	307 t
資源物	3,856 t
有害物	29 t
合計	19,460 t

多摩地域平均との比較

20年度の多摩地域の1人1日当たりの平均ごみ量は472g、稲城市の1人1日当たりのごみ量(市収集の可燃・不燃ごみ)は511gでした。

ごみの分別、生ごみの水切りなどさらなるごみ減量を!

1人1日当たりごみ量(市収集可燃ごみ+不燃ごみ)



発泡スチロール・トレイの回収をしています

市では市内29カ所で発泡スチロール、トレイの回収を行っています。大きな発泡スチロールは細かく割って出してください。大きいまま出しますと、ボックスはすぐに満杯になります。ご協力をお願いします。

なお、スーパーなどの小売店で店頭回収を行っているところもありますので、ご利用ください。

事業者の方は自己処理が義務となっているため、利用できません。



市役所内の回収ボックス

発泡スチロール・トレイ回収ボックス設置場所(公共施設)

1 市役所	5 第二文化センター	9 総合体育館
2 若葉台出張所	6 第三文化センター	10 水道課
3 平尾出張所	7 第四文化センター 1	11 稲城市リサイクルショップ
4 中央文化センター	8 城山文化センター	

1 第四文化センターは改装工事のため、22年3月までは回収ボックスの利用ができません。 2 公共施設以外にも18カ所あります。

わたしたちのごみはどこへ行くの？

皆さんの家庭から出たごみは、「クリーンセンター多摩川」で焼却してスラグ化し、処理できなかった灰の全量が日の出町にある最終処分場「二ツ塚廃棄物広域処分場」(東京たま広域資源循環組合)の「東京たまエコセメント化施設」でエコセメントにリサイクルされています。エコセメントは、道路や公園などの建築資材として利用されています。

二ツ塚処分場では、多摩25市1町の約400万人の家庭から出るごみを受け入れており、日の出町の皆さんをはじめ近隣市民のご協力のもと、多摩地域から出される焼却灰のエコセメント化や燃えないごみの埋め立てを行っています。

エコセメント化施設事業を受託している東京たまエコセメント株式会社は、廃棄物発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の3R活動の適切な推進、廃棄物の収集運搬・処理事業による生活環境改善に顕著な功績があった企業として、「平成21年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞しました。



東京たまエコセメント化施設



エコタロ

リサイクルショップで職業体験学習

9月14日(月)から3日間、稲城第六中学校の生徒9人が、リサイクルショップで職業体験をしました。リサイクルショップは市民の環境学習の場です。職業体験として、発泡スチロール・トレイの回収作業、道路のボランティア清掃、ペットボトルなどの中間処理作業などを体験しました。

また、太陽熱を利用した湯沸かし器の製作も行いました。

この体験を通して、「働く事の大変さを知った」「環境に対する意識が広がった」などの感想がありました。



発泡スチロールの回収作業



回収されたペットボトルのかごからポリ袋などを取り除きます。



太陽熱を利用した湯沸かし器

出張します！ごみ減量説明会

ごみ減量やリサイクルについて、職員が説明に伺います。スライドやゲームなどでごみの減量ポイントを紹介し、ごみの相談や日頃から思っていることなどを一緒に考えましょう。

対象 市内在住、在勤、在学の10人以上の団体やグループ
申込方法 電話で申し込んでください。

新聞、ざつ紙、ダンボールなどを 集団回収しませんか

現在、自治会、子供会、PTAなど59団体が登録しています。活動収益は地域に還元されますので、ぜひご利用ください。

20年度の平均補助金額は約28万円でした。

集団回収の方法 団体登録を市(環境課)に申請する(約20世帯以上などの要件あり) 団体で新聞などを回収し、業者に引き渡す 交付申請を上半期と下半期に分けて合計2回、市(環境課)へ申請する 回収量の実績により、補助金が交付される

使用済みの紙はリサイクルしましょう

リサイクルできる紙は新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パックだけではありません。次のものを燃えるごみとして捨てていませんか。

リサイクルできる紙

ティッシュの箱、菓子箱、トイレトペーパーの芯、カレンダー、封筒、包装紙、パンフレットなど

これらは、貴重な資源です。紙袋などに入れて古紙の日に出してください。

家庭剪定枝の再利用をしています

市内の各公園などの集積場で家庭から出た剪定枝を毎月3回程、車搭載型破砕機を使用して細かくチップ化し、堆肥などにリサイクルしています。



破砕車が伺います

最近、根元から引き抜かれた野菜の持ち込みが目立っています。野菜は木ではないので破砕機ではリサイクルできませんので持ち込まないでください。

その他、直径8cmを超える太い木、草、ごみや小石が混じった袋に入った剪定枝などは処理できませんので、ご協力をお願いします。



しその葉とナス



太い木

生ごみ処理機「くうたくん(消滅型)」を使ってみませんか

くうたくんは人間が食べ残したものを食べてくれます

くうたくんの特徴

くうたくんの酵素が生ごみを分解・消化しますので、生ごみは「くうたくん」が食べてくれます。

電気を使いませんのでますますエコです。

臭いもありません。

この不思議な容器「くうたくん」を活用して、ごみ減量をしてみませんか。

価格 10,500円(市から3,000円の補助があり、7,500円で購入できます。購入前に環境課に申請してください)

販売・問い合わせ 稲城市リサイクルショップ(東長沼3101番地の4) ☎379 - 5374

通常の開館日は水・金曜日です。

